



輝かしい旅立ちと夢のような再会を！

校長 中山 恭平

昨年の暮れ、1通の葉書きが自宅に届きました。内容は、瀬戸内町立伊子茂小・中学校の還暦同窓会の案内でした。

私にとっては、昭和49年3月に転校のため別れたあの日から約50年月日が流れていたが、参加することになりました。お互いに約半世紀ぶりに会う上にマスクをしているので、「誰だか分かるかな?」ととても不安な気持ちでした。古仁屋港のフェリーターミナルの前で、当時17人いた同級生のうち10人が恩師3人を囲んで顔を合わせました。何10年もの時を経て会えた奇跡と懐かしさで、そこには幸せな時間が広がっていました。

当日は、同級生の入念な計画の下、加計呂麻島をめぐり、恩師の墓参りをした後、母校に到着しました。校舎の内外を懐かしく見て回り昼食をとった後、正門前の「青雲の志」の碑の前で記念撮影した瞬間は、小学5年生にタイムスリップしたような気持ちになりました。私にとってほんとうに夢のような気がした一日でもありました。

私は転勤族(教師)である父のおかげで、これまでに本来出会う人の数以上に、多くの人との出会いがあったと思っています。そうした出会いの中で“もし彼らと出会っていなかったら、私の人生は確実に変わっていた”と心底そう思える友との出会いがありました。

さて、いよいよ3月14日は第76回の卒業式です。清水中学校での多くの仲間との出会いは、これからの卒業生の皆さんの人生においてとても大切なものであると思います。仲間の存在は、常に刺激となり自分への活力へと変わり、不安が自信へと変わっていきます。この仲間たちに出会えたからこそ、自分を高めることにつながったと思える日が必ず訪れることを信じて疑いません。

多くの人々に支えられた素晴らしい学校で義務教育課程の修了を迎える3年生125人の皆さん卒業おめでとう。清水中学校に親しみ、学び、鍛えた3年間に自信と誇りを持ち、新たなステージから見る景色を想像し、自立への志を確かにしつつ躍進してください。その門出を支える在校生も、きっと1・2年後の自分の姿を想像し、進級への決意を確かにすることでしょう。

いつか、皆さん一人一人が10年後、20年後、またその先において、母校清水中学校の卒業生としてかけがえのない仲間や先生たちと再会する日を楽しみにしています。

結びに、地域及び保護者の皆様をはじめ多くの皆様の、本校及び卒業生に対しましてのご支援に深く感謝申し上げます。



日	曜	3月 行事予定表	SC 来校日	日	曜	部活動生徒最終下校時刻 18:15	SC 来校日
1	水	班活動の反省	市川(AM)	13	月	同窓会入会式・卒業式予行	中島(PM)
2	木	公立高校入試(~3日)		14	火	第76回卒業式	
7	火	3年クラスマッチ		15	水	2年クラスマッチ	
8	水	3年クラスマッチ 職員会議	中島(PM)	16	木	生徒会の日	
				17	金	1年クラスマッチ	
10	金	親子スポーツ大会(3年)	中島(PM)	24	金	修了式 辞任式	中島(AM)

カウンセリング(SC:中島先生 or 市川先生)の申し込みは、担任または教頭まで連絡をしてください。

十四の春に志を立てる



大龍校区では2月5日、清水校区では2月11日に、校区まちづくり協議会主催の立志式が3年ぶりに開催されました。大龍校区では一人ずつ、清水校区では代表生徒が立志の決意と地域の皆さんへ感謝の言葉を伝えました。地域の温かさが伝わるともいい式でした。

もっと読書に親しもう…生徒による読み聞かせ



2月16日の1・2年生の朝読書の時間は、各学級の図書委員による読み聞かせが行われました。この日のために図書委員は図書館で本を探し、読む練習をしてきました。当日はとてもわかりやすく丁寧な読み聞かせて、生徒たちも真剣に聞き入っていました。これをきっかけに生徒たちの読書量がもっと増えてくれることを願っています。

令和4年度「鹿児島学習定着度調査」の結果速報値(令和5年2月4日現在)と分析

令和5年1月17日(火)・18日(水)に全県下の中学1年生と2年生を対象に鹿児島定着度調査が行われました。先日、その速報値が発表されましたので、本校の結果と比較してお知らせいたします。

- 1 学力検査の結果(各教科の平均通過率および県平均との比較) ※ () 内は令和5年2月4日現在の県速報値との差

	国語	社会	数学	理科	英語
1 学年	74.1(+3.7)	73.4(+5.0)	79.3(+8.4)	66.5(+3.3)	81.8(+6.2)
2 学年	74.5(+3.6)	59.4(+4.5)	78.6(+6.0)	65.0(+2.6)	68.5(+0.7)

※正式な結果は3月中旬に県教育委員会から公表される予定です。

- 2 結果を受けて、今後の各教科の取組

国語

- 語彙力を増やすために、様々な文章を読む機会を設ける。認め合う雰囲気の中で、自分の考えをもち、言葉や文章で表現する活動を繰り返し行う。資料やデータを活用して、自分の考えをまとめる活動を増やす。字数や条件を意識した作文活動を行う。文法や語句に関しては多くの問題に取り組ませる。

社会

- 指導と評価の一体化を進める。授業では、確認テストを行い、繰り返し問題を解くことで基礎・基本が定着できるようにする。また、授業内で資料を積極的に使用し、資料読解力や文章表現力を身に付けさせる。家庭学習で、何度も問題を解けるよう手立てを講じる。

数学

- 日常的な事象を含んだ問題等に取り組ませ、ICT を効果的に活用し、互いに自分の考えを分かりやすく表現し伝え合ったりする活動を通して、数学的な思考力・表現力の育成を図りたい。家庭学習で毎日計算問題を解く手立てを講じる。思考力・表現力を育てるために、評価問題等の活用を図る。

理科

- 観察・実験を基に、考えを交流する場を多く設定し、表現力の育成に努める。課題解決・問題解決的な学習をこれまで以上に多く設定し、思考・判断・表現の場、特に実験・観察を基に考察する時間と考えを交流する場をより多く設定していく。

英語

- まとまった文章や図や表、資料を使った内容を読み取る力を継続して伸ばしていきたい。思考力を問う問題への取り組みを増やし、既習の文型を用いて自分の考えや思いを英文で伝える表現力を高める活動にも力を入れていきたい。

生活のきまり(校則)の一部変更について

生活のきまりを一部変更しましたので、お知らせいたします。

1 レギンスの着用を認めます

<校則検討委員会からの意見>

- ※ レギンスだと靴下を履くことができ、足先の冷え防止ができ、足先を冷やさないことは学習や作業能率が上がるという科学的根拠がある。タイツより破れにくく着脱しやすいなど。

2 黒靴下の着用を認めます

<校則検討委員会からの意見>

- ※ 汚れが目立つと身だしなみとしてもよくない。黒のタイツやレギンスには白靴下は合わないなど。

学校の最新情報は本校ホームページ (<https://www.keinet.com/shimizuc/>) で!
右のバーコードか、**鹿児島 清水中**で検索してください。

